

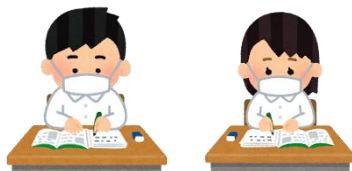


敬愛

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

学ぶということ。

校長 持田 晃

私が小さい頃、朝起きたら洗顔、歯磨きをしました。ごく当たり前のことですが、それをどこで行っていたかと言うと、洗面所ではなく井戸でした。もちろん、家に水道はありましたが、蛇口はひとつしかありませんので、母親が朝食の支度に使用していました。冬場の井戸の水は、時に凍ってしまうこともありました。

学校に登校すると、教室の暖房は石炭ストーブで、煙突が校舎の外まで延びている情景が思い浮かびます。石炭係の児童がいて、毎週石炭をもらいにバケツをもって、用務員さんのところに行きました。石炭ストーブの周りには、囲いがあり、直接触れることが無いように安全対策がしてありました。雪が積もった時には、皆で雪合戦や雪だるまで遊び、濡れた靴下を脱いで、ストーブの囲いにかけて干したりもしました。そういえば、靴下が焦げてしまい、穴が開いてしまった時もありました。

このような生活は、今では信じがたいかも知れません。暖房はスイッチを押すだけのエアコンであり、蛇口をひねればお湯も出ます。でも、急にこのような生活に変わったわけではありません。先代の人々が作り上げてきた学びにより、今私たちは恩恵を受けているのです。学びは、人から人への伝達であり、積み重ねていくことで、新たな恩恵を後世の人へ受け継いでいくこととなります。

孔子の論語に『学而時習之』（まなびて ときに これをならう）があります。口語訳では、「習ったことを機会があるごとに復習し身に付けていくことは、なんと喜ばしいことでしょうか」となります。孔子のいう「学ぶ」とは、「書物や他人から教えるを受けること」です。「習う」は、「身に付くまで何度も繰り返し復習すること」をいいます。この二つを合わせると「学習」となりますね。もう一つのキーワードは「知る」です。「知る」は「既知のことと未知のこととの区別を明確にすること」をいいます。つまり、学問とは「学ぼうとする謙虚な態度、そして、復習し、自ら考える努力によって完成されるのです。そのためには、既知と未知との区別をしっかりと付け、既知なものの上に、未知なるものを極める態度が大切で、そこに学問の向上がある」と孔子は言っています。ちょっと難しいと思いますが、自転車に乗れるようになるために、皆さんも練習を積み重ねたことと思います。最初は、年上の人などに教えられて、身に付くまで何度も復習をしたと思います。自転車に乗れた時の感動は、未知なる世界を体感できたことでしょう。目の前の既知なる情景も違って見えたことと思います。そこには、感動があります。学ぶということは、とても価値が深いのです。

来週22日から定期考査があります。1年間のまとめとなります。学ぶことは、自分自身のためにすることです。そして、ひとつのことがわかると、次のことも知りたくなります。そのことにより、良い回転が始まります。一度、歯車が回転しだすと、最初の一回転よりも楽に回るようになります。

回転をよくするための三つの方法をお教えます。一つは、必ず毎日行うこと。1日5時間勉強し、4日何もしないよりは、1日1時間を5日間続けた方が、効果は高いです。二つは、しっかりと睡眠時間も確保すること。これは脳内に蓄積された知が睡眠によって、整理され、活用しやすくなるそうです。三つは、朝食をしっかり食べること。一日のエネルギーの源です。できれば、ごはん、みそ汁、納豆が良いとされています。

最後に、3年生へ「ベストを尽くしてください」。全集中で臨もう！

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓 NO

42

「オンリーワン」

教諭 福永 将司

私が高校時代に所属していた鹿児島実業高校新体操部は、全国で唯一“コミカルな団体演技”をする新体操部です。タイトルの言葉の意味がお分かりいただけでしょうか。「人と違うことをすればいいだけ。簡単だよ。」「1番になれないときの言い訳だよ。」と思う人もいるかもしれませんが、私は高校3年間でオンリーワンの素晴らしさ、オンリーワンであることの大変さを実感しました。

鹿児島実業高校のコミカルな演技が始まったのは、現在の監督が就任した20年ほど前です。始めた理由について監督は、「うちはそこまで強くない。あとから試合の映像を見返したときに、早送りされてしまうようなチーム。記憶に残るチームにしたかった。」と話していました。今ではYouTubeで数百万回再生されている動画もありますが、始めた頃は非難の声ばかりだったようです。有難いことに、私が高校生の頃は、試合後にどこのチームよりも大きな拍手をもらいました。「俺は大学時代、選手として全日本選手権で優勝した。そのときでさえ、これだけの拍手はもらえなかった。」演技が終わったあと、監督が私たち選手にかけてくれた言葉です。

コミカルな演技には、今でも賛否両論があります。それでも、20年間自分の信念を貫いてきた監督のことを尊敬しています。オンリーワンという言葉は監督の口から直接聞いたことはありません。ですが、監督の生き様にぴったりだと思ったので、今回のタイトルにしてみました。尊敬する人の背中、これからもずっと私の心の中に残り続けると思います。

三中生の活躍

受賞おめでとうございます！

(敬称略)

「令和3年度 防災標語コンクール」

「優良賞」 1年 大山 咲 「きめてある 家族みんなと 会える場所」

「令和3年度 府中市小・中学生人権作文」

「優秀賞」 2年 高橋 叶路

「優良賞」 2年 園田 瑠南

2年 鈴木 沙羅

